

音楽教育 実技・理論 研修会 終了報告

<p>テーマ</p>	<p>ときめき つながり ひびきあう心を ～音楽的な見方・考え方を働かせ 深め合う多様な学習活動のあり方～ ○子どもたちに音楽の楽しさやひびきあいを体感させるために授業の中で実践できる合唱指導・ 発声法の実技研修 ○小学校・中学校ともに合唱をつくる上でポイントとなることの理論研修</p>
<p>日時</p>	<p>令和7年6月19日(木)</p>
<p>会場</p>	<p>北広島市立大曲東小学校</p>
<p>講師</p>	<p>尾崎 あかり 氏 (HBC少年少女合唱団、北海道大学合唱団、ココクク、ピッコロ・ヴェルデ、札幌チェンバークワイア 各指揮者。札幌合唱連盟任命理事。JCDA日本合唱指揮者協会会員。)</p>
<p>参加者</p>	<p>58名</p>
<p>研修会 の 様子</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>0. 講師紹介</p> <p>1. 準備運動</p> <p>ストレッチ、呼吸等簡単にできる準備運動の例。 日常生活の中では「歌唱」に関連する動きは少ないため、身体を起こす活動として準備運動は欠かすことができないと教えていただいた。参加者全員で身体を動かし、歌う準備をすることができた。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>2. 発声練習</p> <p>「声帯の柔軟体操」というイメージのもと、ハミングからの発声法、ピアノを使用しない発声練習の大切さ、腹式呼吸法、口の開け方を実践指導していただいた。参加者で発声をし、口を縦に開くことで音色が大きく変わることも体感できた。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>3. 歌唱指導</p> <p>「大切なもの」「明日を信じて」を題材に、参加者で歌唱しながら指導いただいた。パートバランス、母音唱での練習、題材曲のポイントの他、今年度は合唱での指揮の振り方についても教えていただいた。指揮法について知る貴重な機会であり、音楽専門ではない参加者からは大変好評であった。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>4. 質疑応答</p> <p>4名の先生方から、題材合唱曲について指導の難しさ、普段の音楽活動での悩みについて質問があった。音程が取りにくい子、地声で歌う子への指導等、身近な悩みの中から今後の指導のヒントを得ることができた。</p> <p>講師の先生が一つ一つ丁寧に親身に応えてくださるため、研修会終了後も多くの参加者が集まり、音楽談義に花が咲いていた。</p> </div> </div> </div>